

編

輯

後

記

○11月の上旬に出すつもりであつた本誌も到頭下旬になつてしまつて誠に相濟まない。こんなものは原稿が集り編輯が出来上つても印刷屋の都合で編輯者の思ふやうに期日を早めて發行することは仲々大敷いものであることを始めて知つた。と言つても決して印刷屋に責任轉嫁して居る譯でなく遅れた責任は矢張り我々にありと大いに恐縮して居る次第である。

○本誌劈頭に掲げた直木參議の講演記録は誠に當代得難き快文字である。

此の人にして此の言あり。正に樞夫をして立たしむるの概がある。或る殻にたて籠つて居ることを技術者の特技と心得て居た人、逆に技術者と言ふものは殻に入れて置きさへすれば易々諸々として顎使に甘んざる者と考へて居た人々は大いに此の講演記の眞髓を玩味してゐたとき既に所謂新體制がお互ひの身近に迫つて來て居ることを深く認識してゐたとき度い。

○橋内氏の築堤工事に就てを始めとし本誌に掲げたものは夫々特徴を持つ一讀讀者に夫々異つた感慨を起させるものであることを信じて居る。

○前號から始めた「東西南北」も仲々の人氣で大抵の人に讀まれて居るのみならず投稿も全滿各地から次々と集つて居るので大

いに意を強くして居る。居ながらにして各地の狀況は勿論のこと會員各自の意志を知り得るのが本欄の特徴であるが別に一定の型がある譯でないから今後は益々オリジナリティーを發揮出来るやう各位の御協力を御願ひして置く。

○本會の財政的ピンチも滿洲土建協會の大島理事の御盡力と同協會會員諸氏の理解する協力で依て漸く切り抜けることが出来た。序ながら茲に厚く感謝申し上げて置く。

○本誌の表紙は水力電氣建設局の人達が目下心根を打込んで其竣成に努力して居られる吉林豐滿發電所の壓力管の断面であるが。中に立て居る人間と比較して其大きさが想像さるやうなこんな大きい壓力管を使用する發電所を計畫し建設出来ることは滿洲國の誇りであると共に其機會を興へられて居る在滿技術官は誠に幸福であると言ふも決して過言であるまい。

口繪の先の2枚は其堰堤工事のものであり後の2枚は奉天の舊來の道路と新らしい道路を示したつもりである。

○前號で一寸紹介して置いたやうに本會も來年1月から去る⁶月誕生した滿洲土木學會に統合する方針を在京の幹事會で一應決定したが、近く理事會にかけて引繼ぐ方法、條件等を正式に決定し次號で詳しく發表したいと思つて居る。(黒田)

康徳7年11月25日印刷 康徳7年11月30日發行〔非賣品〕

發行者 新京特別市惠民路第1代用官舎27號 黒田重治
 編輯者 新京市順天區第5代用官舎104號 寺師虎之助
 印刷者 新京中央通四四番地 和木本久
 印刷所 新京中央通四四番地 滿洲新聞社印刷所

新京特別市順天大街 交通部道路司内

發行所 滿洲土木研究會

振替口座番號新京1141番

本店 奉天市大和區加茂町第十六號

支店 新京特別市大同大街三〇二號



株式會社

滿洲大林組

取締役社長 大林義雄

常務取締役 高橋誠一

出張所 大連、鞍山、牡丹江、哈爾濱、錦州、安東、吉林

工場 奉天、大連、牡丹江

獨逸ケルブレ會社製

ロードローラー

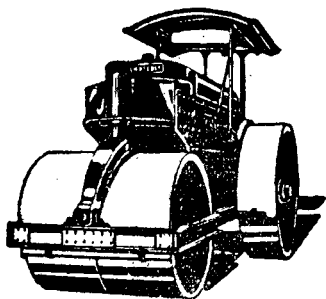
獨逸M・A・N會社製

テイゼル・トラツク

獨逸ランツ會社製

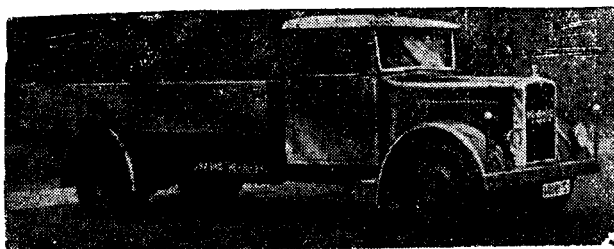
ランツ・ブルドツク・トラクター

KAELBLE
DIESEL



其ノ他獨逸一流製造

會社製諸機械取扱



滿洲總代理店 **孔士洋行**

(ケンスト・アルバース)

哈爾濱・新 京・奉 天・大 連

品質
優良
均齊

小野田ポルトランドセメント
小野田早強ポルトランドセメント
小野田白色ポルトランドセメント
小野田高爐セメント

關東州小野田セメント株式會社

本店 大連市泡崖屯
工場 大連市泡崖屯
滿洲國鞍山

滿洲小野田セメント株式會社

本店 滿鐵連京線泉頭
工場 滿鐵連京線泉頭

内外一手販賣 三井物産株式會社

洋灰 大同

麒麟牌



一號青野

淺野セメント株式會社

新東京營業所

新東京特別市大同大街康德會館壹階

(電話二五二七二(二) 二一三五九)

大連出張所 大連市對馬町二六・二二三四(二)電話

哈爾濱出張所 哈爾濱濱道裡田地街三七(電話三五九五)